

## (6) 研究の構想

学校教育目標  
意欲的に学び、自立に向かう子どもの育成

「豊かな心」 「確かな学力」 「健康・体力」

人を大切にする力 自分の考えをもち、表現する力 チャレンジする力

めざす子どもの姿

気持ちいいあいさつ  
人を大切にする心

よく聴き、よく話す  
思考力・表現力

まわりを美しく  
整理整頓

育成をめざす「思考力・表現力」

考えながら聴く力 考えを整理してまとめる力 分かるように語る力

研究主題 夢に向かって、自ら学び、考えを表現する子どもの育成

～見方・考え方を働かせ、ICTを効果的に活用して、協働的な学びに向かう国語科授業の実践を通して～

「夢に向かって」とは、それぞれの可能性を発揮し、将来の自分の姿を思い描きながら、その実現に向けて学んでいることを自覚すること

「自ら学び」とは、主体的、能動的に話を聴いたり、情報を得たりしたことを基に、協働的に課題を解決しようとする姿

「考えを表現する」とは、自分や他者の気付きを受けて、情報を整理し、考えをまとめ、より分かりやすく伝えようとする姿

### 設定の理由

#### 【今日的な課題・学習指導要領】

未来の創り手となるために必要な力を「生きる力」と捉え直し、その資質・能力の育成のために「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善が重要であるとしている。

#### 【熊本県及び南関町学校教育の取組】

「熊本の学び推進プラン」で「授業づくりのポイント」として、「単元デザイン工夫」「導入工夫」「展開工夫」「終末工夫」が示され、授業改善を推進することが求められている。

#### 【本校児童の実態】

- ・NRT 国語・算数ともに、全国平均と比べてやや高いが、学年差・個人差がある。
- ・県学調 経年変化では、国語は3学年とも低下し、算数は3学年とも向上した。
- ・全体的に、落ち着いた生活ができています。
- ・考えを表現することが苦手な児童が多い。

### 研究の視点

#### ①単元デザイン及び1単位時間の学習活動の工夫

- ・学習意欲が連続し、生活とつなげようとする姿が生まれる単元を通じた学習課題と学習過程
- ・「児童が考える場面と教師が教える場面」「定着確認」「個に応じた指導」等の効果的な組み立てによる学習過程の工夫
- ・1単位時間の充実(導入・対話的な学び・まとめ・振り返り)

#### ②対話の必要性が生まれ、理解が深まる協働的な学びの工夫

- ・児童が考え、表現したくなる発問の工夫
- ・言葉に着目し、言葉にこだわって自分の考えを持ち、表現するための手立て(見方・考え方)
- ・読解力を高める学習活動の工夫

#### ③児童の「思考」「協働」のツールとしてのICTの効果的な活用

- ・思考ツール(ポジショニング、テキストマイニング等)を用いた協働解決場面での活用の工夫
- ・デジタルとアナログの融合(板書の工夫、ノート指導、学習のまとめ、言語活動等)

### 研究の基盤

#### 【学習の基盤となる言語能力・情報活用能力の育成】

説明や資料等から必要な情報を取り出して考えをまとめたり、他者の思いを受け止めながら自分の思いを伝えたり、目的を共有して協働したりするためには、教育課程全体を通じた情報活用能力・言語能力の育成を図ることが基盤となる。

#### 【学習規律の徹底と落ち着いた生活態度】

気持ちを切り替えるための黙想、学習時の姿勢、話の聴き方や発表の仕方などの学習規律を徹底することや、挨拶や廊下歩行、整理整頓など、落ち着いた生活態度で過ごすことは、授業中の学びに向かう態度にもつながる。

#### 【人権教育を根底にした教育活動の展開】

人権尊重の精神に立った学校づくり・安心と信頼にあふれた高め合う学級づくりを基盤とした安心・安全な生活の中で、生涯にわたって必要な基礎的・基本的な学力、人間関係形成能力、健康な心身が育成される。